



## 経営基盤の安定は 政治活動から 新年のご挨拶

神奈川県歯科医師連盟会長  
鶴岡 裕亮

明けましておめでとうございます。

会員の先生方におかれましては、日頃より本連盟の事業にご理解とご尽力を賜り深く感謝申し上げます。また、昨年10月に行われました衆議院総選挙の際には、地域歯科医師連盟と共に多大なるご支援を賜り誠にありがとうございました。推薦議員の大多数を再び国政に送ることが叶い、重ねて厚く御礼申し上げます。

今、我々が力を入れているのはオーラルフレイルの普及・啓発です。オーラルフレイルの予防・改善は、フレイルの進行を弱め、健康寿命の延伸につながります。神奈川県行政においても、未病対策の一環として、本会へオーラルフレイルの実態調査並びに改善プログラムの作成・介入調査を委託しています。

また、「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」の改正に向けても行政及び関係諸団体と協議を重ねており、定期的な歯科健診、オーラルフレイル対策、医科歯科連携などが条文に盛り込まれる事を第一目標として折衝しているところでございます。この「オーラルフレイル」という概念を、全国に先がけて神奈川から喚起し、行動し、広めていきたい

と考えています。

さらに、企業の定期健診に、歯科も義務化できないか、といった要望活動も展開しています。成人期以降の歯科健診の必要性は今や誰もが認めているところです。

歯科診療所は口の中だけを健康にするのではなく、全身を健康にするところです。そのことが県民に周知されつつある今、地域の歯科医師一人ひとりが、しっかりと自覚をもち、新たな事業展開をしなくてはなりません。我々歯科医師連盟の使命とは、会員である個人開業医それぞれが、地域の皆様へより良い歯科医療、歯科保健を提供できるよう促すことです。各診療所は経営基盤の安定を図ることが重要であり、そのための施策を求め、政治活動を行うことも重要な役割だと認識しています。

皆様方のご理解のもと、連盟への信頼回復のために務め、歯科医師会会員の大多数が連盟会員であるという組織を再び作りあげていくことを目指して参ります。

今、歯科界は新たなステージに入ろうとしています。歯科医師会が10年先、20年先、次の世代まで残っていくために、県歯執行部と我々連盟執行部が一丸となり、皆様の力をお借りしながら一歩先を見据えた価値観の創造に努めて参りたいと思っています。

この新しい年がより佳き年となるよう祈念いたしまして、連盟からの年頭のご挨拶とさせていただきます。

「オーラルフレイル」は口の機能の虚弱です、滑舌低下、食べこぼし、わずかなむせ、かめない食品が増えるなどのささいな口腔機能の低下から始まります。早めに気づき対応することが大切です。これらの様々な口の衰えは身体の虚弱と大きく関わっています。



## 新年所感

参議院議員

石井 みどり

新年明けましておめでとうございます。

本年も先生方にとりまして佳き年となりますよう、お祈り申し上げます。

また、平素より格別のご指導、ご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は歯科界にとって実り多い年となりました。

6月9日には、「経済財政運営と改革の基本方針2017」、いわゆる「骨太の方針2017」が閣議決定され、本方針に歯科医療・口腔保健の重要性が盛り込まれました。

また、10月22日に、第48回 衆議院議員総選挙が投開票されましたが、その際の自民党衆院選公約「Jファイル2017」に、歯科項目を盛り込むことができました。

さらに11月22日には、中医協において、大白歯CAD-CAM冠が期中導入され、保険適用されることが承認されました。

現在最も重要な課題は、①成人期以降の歯科健診の義務化、②平成30年度診療報酬改定です。

中でも、私の職域代表としての使命の一つである「生涯を通じた歯科健診の義務化」は、歯科界全体の悲願であります。

歯科健診の義務化に向けては、労働安全衛生法改正による労働者の一般健診への歯科健診導入や、産業歯科医の身分法制化などが目指されます。

これらに向けて、遅々とした歩みではありますが、「半歩ずつでも前へ」という気概で取り組んでまいりました。

目前の重要課題である平成30年度診療報酬改定については、「歯科の技術料評価が低廉であり、適正な評価がなされるべき」という点を繰り返し主張してまいりました。

歯科界を挙げての取組みには、デンタルファミリーである歯科衛生士・歯科技工士の皆さんの協力も不可欠です。

現在、歯科衛生士・歯科技工士の人材養成・確保が急務であり、その解決策として、医療介護総合確保基金における事業が各都道府県において展開されつつあります。

2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、日体協公認スポーツデンティストの数を増やしつつ、人材を活かしていくことが重要です。

これからも、現場の歯科医師の先生方の活動範囲をさらに拡大させ、公に資する歯科医師の活動を国として位置づけるべく、国政の場で活動してまいります。

平素より温かいご支援を賜っております神奈川県歯科医師連盟の先生方に、引き続きのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。





## 謹 賀 新 年

参議院議員

三原 じゅん子

あけましておめでとうございます。

神奈川県選出の参議院議員、三原じゅん子でございます。本年も無事に新しい年をお迎えすることができました。

鶴岡裕亮新会長をはじめ神奈川県歯科医師連盟の皆様方には、平素よりご理解ご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

昨年の衆議院選挙におきましても党神奈川県連所属の候補者に対しまして、皆様方より絶大なご支援を賜りました。この場をお借りいたしまして衷心より御礼申し上げます。

私の国会議員活動も8年目を迎えさせていただきます。参議院では引き続き厚生労働委員会委員を務めさせていただいております。今後より一層の高齢化が想定されるなか、「人生100年時代」を見据えて、ますます地域完結型の歯科医療が重要になってまいります。かかりつけ歯科医師の強化、質の高い在宅医療そして訪問看護の確保、医科歯科連携、歯科医療職の皆様を含めての女性の多様な働き方の実現。歯は生命の源である食の基本ですから、たとえば栄養士の皆様とも連携したフレイル対策というものも重要でございます。ますます神奈川県歯科医師連盟の皆様方のお力が重要になって参るものと存じます。皆様方のご意見に謙虚に耳をかたむけ、より暮らしやすい神奈川県のために頑張っていく所存でございます。

また、昨秋の第194回国会からは、参議院の消費者問題特別委員会委員長を拝命致しまし

た。ひとえに神奈川県歯科医師連盟の皆様のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

消費者問題特別委員会では、神奈川県民の皆様の消費者保護そして消費者の権利拡大のために尽力して参ります。消費者問題は近年の流通の発達や購買様式の多様化により、新たな問題が現れてきております。加工食品の安全、子どもたちやお年寄りの事故防止、インターネット取引や仮想通貨取引、SNSを通じた勧誘やトラブル防止など、消費者を巡る新たな問題も山積しております。

消費者庁では、消費者ホットライン「188番」をご用意しておりますので、何かお困りの際は是非ご活用いただきますようお願い申し上げます。また神奈川県内には、各地域に20を超える消費生活センターがございますので、お住まいの地域の消費生活センターにお気軽にご相談いただくことも可能でございます。神奈川県歯科医師連盟の皆様方の消費生活の一助となることができましたら幸甚でございます。

平成三十年は戌（いぬ）年でございます。いぬは私も大好きな動物ですが、戌という漢字には、戈（ほこ）という文字を含み、豊かに実った作物を刈り、収穫してひとまとめにするという意味もあるそうです。

新しい年が神奈川県歯科医師連盟の皆様方にとりまして、さらによい年となるように祈念申し上げます。私の新年のご挨拶とさせていただきます。



## ご挨拶

参議院厚生労働委員長  
島村 大

あけましておめでとうございます。神奈川県歯科医師連盟の皆様におかれましては、お健やかに、よき新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年秋より厚生労働委員長を仰せつかっています。ご承知のとおり、厚生労働委員会は、医療、年金、介護、社会福祉から雇用、労働問題まで、国民の皆様の生活に直結する重要なテーマを幅広く所管しています。このため、他の委員会に比べて開会日数も多く、注目を浴びる機会も少なくありません。これは、与野党が対立する中で難しいかじ取りを迫られる場面がしばしばあるということです。

私も以前は与党の筆頭理事として、野党との間で文字通りひざ詰めの交渉を行い、審議を充実させ、政策を実現してきました。委員会の委員長とは、いわば行司役。これまでと一番違うのは、立場が党派を超えて公平中立だということです。良識の府である参議院の厚生労働委員会



には、意見の対立があっても、できる限り議論を積み重ね、結論を導いていこ



関 暁子会員（川崎）の激励

うとする雰囲気があります。委員長としても、こうした雰囲気を大切にしながら公正かつ円満な委員会運営に努めて参ります。

平成30年の通常国会では、長時間労働の是正や同一労働同一賃金の実現など、政府を挙げて取り組んでいる働き方改革関連法案、受動喫煙防止のための健康増進法改正案など、大きな関心を集める重要法案への対応が課題となります。

加えて、平成30年度は診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定の年に当たります。今回の改定は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を控え、将来の医療・介護の姿を方向付けるきわめて重要な改定です。

私も、参議院厚生労働委員長として、また、歯科医師の与党議員の一人として、社会保障制度をめぐる諸課題にしっかりと取り組み、よりよい国づくりと歯科界の発展に尽力して参る所存です。本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、神奈川県歯科医師連盟の今後ますますのご発展と、本年が皆様方にとって実り多き一年となりますことを祈念し、新年のご挨拶いたします。



## 新たな「歯科の時代」の幕開けに

参議院議員  
山田 宏

新年明けましておめでとうございます。

皆様には平成30年の幕開けを、お健やかに迎えのことに心よりお慶び申し上げます。また昨年も神奈川県歯科医師連盟の先生方には、大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

さて今年「戊戌（つちのえ・いぬ）」の年。どちらの文字もクサクムリをつけると、「茂」という字になり、今年「繁茂」の年と言われます。一昨年「丙申（ひのえ・さる）」で「新たな『芽』（丙）が伸（申）び」、昨年「丁酉（ひのと・とり）」で「『芽』が抵抗に合いつつ（丁）成長（酉）する」年を経て、いよいよ「繁茂」の年というわけです。

私は「国民皆歯科健診」の公約実現をめざし、一昨年の当選直後から官邸や厚労省との協議を開始し、また若手国会議員による歯科口腔医療勉強会をスタートさせ、実現への『芽』出しに

取り組みました。昨年は、国家経営の基本方針となる「骨太方針」に歯科健診や口腔ケアの充実が初めて盛り込まれ、予算などにも大きく反映されて、公約実現へ一歩前進と『芽』がふくらみました。

そして今年、その新たな歯科時代の『芽』をさらに成長させ、「繁茂」させていく年にしたいと思います。具体的には、特定健診や健保組合における歯科健診の拡大、医療施設や介護施設での歯科口腔管理の拡充、そして指導監査の改善などにも、島村大先生と手を携えながら取り組みたいと思います。

最後になりましたが、本年も変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様とご家族にとりまして良き一年となり、神奈川県歯科医師連盟が鶴岡会長を中心になりますご発展されますよう心よりお祈り申し上げます。

## はじめましてツルちゃんです



鶴岡 裕亮（ツルオカ ヒロアキ）

昭和36年11月7日（56歳）B型 さそり座  
231-0048横浜市中区蓬菜町1-2-8 勝幸ビル  
2F 鶴岡歯科医院

昭和55年 神奈川県立松陽高校卒  
昭和61年 東京歯科大学卒  
昭和61年 東京歯科大学歯科補綴学第三講座特別研究生  
昭和62年 東京歯科大学千葉病棟 病院助手  
平成元年 鶴岡歯科医院に勤務（横浜市中区）  
同 東京都中央区 医療法人社団豊成会  
銀座デンタルクリニックに非常勤として勤務

平成6年 横浜市中区に鶴岡歯科医院開設  
同 神奈川県歯科医師会・  
神奈川県歯科医師連盟入会  
平成17年 神奈川県歯科医師会 代議員  
平成19年 神奈川県歯科医師会代議員会  
予算決算特別委員会委員  
平成21年 横浜市中区歯科医師会副会長  
平成23年 横浜市中区歯科医師会専務理事  
平成25年 神奈川県歯科医師連盟常務理事  
同 神奈川県歯科医師連盟理事長  
同 横浜市歯科医師会副会長  
平成29年 神奈川県歯科医師連盟会長  
同 神奈川県歯科医師会予算決算特別委員会  
【趣味・家族構成】公営競馬・5人（妻、子供3人）  
【好きなもの】酒 【座右の銘】『継続』

## 地区代表、衆院選を総括 幹事会・DM会合同会議

平成29年11月16日（木）午後4時より、神奈川県歯科医師会館5階中会議室にて、「平成29年度第1回幹事会・DM会合同会議」が行われた。

檀上修副理事長の司会、小澤操副会長の開会挨拶により、開会された。

鶴岡裕亮会長は、開催に当たり、10月の衆議院議員選挙では、地域より推薦のあった候補者の大多数が当選できた好成績の御礼を述べた。事業を継続し、丁寧にかつスピード感を持って会務を行っていくために重きを置くことが2つある。

①地域歯科医師連盟とのつながりをさらに強化していくために地域で要職を務められている方を役員にお願いした。

②連盟の活動をより分かりやすくするために、広報誌・ホームページのリニューアルとフェイスブックを活用できるよう準備を進めている。

この会議を通し、地域の代表者のより多くの意見を賜り、地域と一体となった連盟活動を目指したいと挨拶した。

島村大参議院議員は、衆議院選挙の御礼を述べた後、下記のように国政報告を行った。

自民党総合政策集Jファイル2017には歯科健診の充実をはかるなど歯科のボリュームが格段と大きくなっている。

骨太方針に歯科の文言が入ることで、初めて予算化されるのである。

診療報酬、介護報酬、障害者福祉報酬のトリプル改定は横のつながりを持ってしっかりとやっっていこうとしているが、なかなか厳しい。

歯科口腔保健の推進に関わる法律に基づき、口腔保健推進室が設置されたが、併任となっている。この推進室を省令室になるよう、そして審議官を出せるよう努力しているところである。診療報酬改定との2本柱でやらせてもらっている。

2年後には私の選挙になる。ご協力をお願いしたいと締めくくった。

国政報告に続き、協議に入った。

第48回衆議院議員総選挙結果について、長崎康俊理事長は添付資料を解説しながら、参議院選につながる選挙であり、地方議員とのつながりが重要であると総括した。

その後、各地域幹事から今回の選挙に対する意見等が出された。

椎野幹事（小田原）「結果ばかり見て喜んで

いてはいけない」

下里幹事（茅ヶ崎寒川）「自民党は浮かれている。失言も多い。是正していただきたい」

宮坂幹事（川崎）「候補者3人とも良い成績であった。これからも身を引き締めていきたい」

大塚幹事（秦野伊勢原）「萩原市議の力は大きかった。未入会者の自民党批判も考えていかなければならない」

松本幹事（藤沢）「昔から二人の議員を送り込んでいる難しい地区である。推薦候補は小選挙区で負けてしまったが、票数はバランスがとれていた」

秋山幹事（平塚）「今度開催するデンタルミーティングで地区の方々と連絡をとっていきたい」

馬場幹事（厚木）「選挙に対する注意の資料をいただき助かった」

三宅幹事（海老名）「若手の会員も街頭に立つなど姿勢を見せることができた」

関幹事（相模原）「圧勝で選挙活動はほとんどしなかった」

武藤幹事（座間）「選挙区がふたつに分かれ、情報が入らず困った。自民党が勝ってよかった」

金子幹事（足柄）「自民党圧勝でよかった。今後の支持政党は？」

鶴岡会長「政権与党を支持していきたい」

松井幹事（横須賀）「政権与党を支持しても診療報酬は下がり続けている。与党を支持するのは当たり前だが根拠も欲しい」

近藤幹事（大和）「与党だからというだけではなく、歯科医療にとって医療にとって市民にとって、良いのかも具体的に言えることが大切」

呉幹事（横浜市）「立憲民主党が波に乗ってしまった。自民党もこれくらいやってもいいのかと感じた」

萩原DM（伊勢原市議）「推薦状など歯科医師会の活動に感謝している。得票数はいいが、得票率となると、身を引き締めていかなければいけない。島村参議がどこに行ってもいらっしやった。フットワークの軽さに脱帽」

島村参議「医療政策にとっては、与党を応援したらかと言ってすぐには変わらない。行政マンに歯科医師を送り込んでいくことも考えていただきたい。根拠を持った話が大切。医師会との差もデータの差がある」

続いて、今宮圭太組織対策委員長から未入会対策のお願いがあった。

小川淳副会長の閉会の挨拶で終了した。

## デンタルミーティング IN かながわ 田村元厚労大臣歯科を語る

平成29年11月16日（木）午後6時より県歯会館「大会議室」において平成29年度神奈川県歯科医師連盟「デンタルミーティングINかながわ」が開催された。

長崎康俊理事長の司会のもと、徳永寛司副会長が開会を告げ、鶴岡裕亮会長、鈴木駿介県歯会長、大越壽和都連盟会長がそれぞれ挨拶した。

次に、来賓を代表して高橋英登日本歯科医師連盟会長からご挨拶に続いて、来賓ならびに議員の紹介がなされた。

続いて、元厚生労働大臣で衆議院議員の田村憲久先生を講師にお招きし「我が国の社会保障制度について～診療報酬改定に向けて」と題して基調講演が行われた。

講演の要旨は以下の通りである。

### ・社会保障制度について

消費税増税額の行き先が社会保障から子育て支援へ変更されたため、財源をどうするか議論されている。財務省は高齢者の医療費増加分を考慮に入れ、医療費全体を2%下げたいと計算した。このように各省庁と折衝が行われている。

財務省は2018年度予算編成の焦点である診療報酬改定で2%台半ば以上のマイナス改定を目指す方針だ。25日の財政制度等審議会（財務相の諮問機関）に方針を示す。国民医療費は過去10年間で平均25%のペースで増加している。制度の持続性を高めるには、大幅なマイナスが避けられないと判断した。年末にかけて厚生労働省や日本医師会と調整する。

2017, 10, 24日経新聞

超高齢化と言われる日本だが、医療費の占める割合が非常に多くなってきている。国民所得の割合を考えると5倍を超える伸びをしている。特に気になるのが化学療法剤に代表される薬価である。

・社会保障の中の歯科関連の取組では、前回の改定で特定健診の項目に歯科が問診しか入らなかったのは残念だが、関連議員の努力で骨太の改革に歯科保健が入ったのは財政支出の根拠になるので大きな前進だと思う。

特定健診・特定保健指導に歯科関連プログラムを導入するメリットとして、1.メタボ改善に向けた保健指導が強化される、2.咀嚼に支障を来している人に歯科治療を勧める機会が得られる、3.歯科保健行動は行動変容が比較的容易で、生活習慣改善に向けた弾みをつけることができる、4.歯周病改善によるメタボ改善効果が期待できる、以上の4点が期待できる。

国立保健医療科学院Hpより



田村元大臣・島村参議を囲んで

### ・概算要求について

医療費の概算要求に関しては診療報酬の改定率は政府が行い、その割り振りは中医協が担当する。高齢者の医療費の伸びは約5000億円必要となることが予測できている。1.33%薬価が下がったので、その分の上げは僅かだが出来ると言える。今回は2025年より前の最後の同時改定だ、診療報酬を0.1%上げるのに必要な予算は約100億円と言われている。介護報酬で25億円、障害者福祉で13億円が必要となる。これらも包括して診療報酬の改定を考えるといけないので難しい。

ただし日本政府は衆院選挙前に保育の現場確保が最優先としたので、今後の診療報酬改定の動きはわからない。

・歯科に関連した動きでは、口腔検査が中心になっている、検査が医療費抑制にどのようにつながるか。また、口腔検査によって、口腔機能の低下が定量的に測れないか、検討している。また、施設入所への対応や、歯科衛生士の離職防止、技工士のトレーサビリティも検討している。

・制度を大きく展開する事が必要。継続した社会保障のためには何をすればいいか、社会保障の財源の議論が必要である。早く議論しないと経済が破綻しかねない。

技工士のトレーサビリティとは：追跡可能性の意味で、歯科医療の安全を確保するために、技工物の材料や仕入れから加工・製造・流通などの過程を明確にすること。また、その仕組みをいう。

熱気にあふれた会場から大きな拍手が送られ基調講演は終了した。次いで公務多忙のなか駆けつけて下さった議員の紹介が行われた。

引き続き、「デンタルミーティング IN かながわ」が「診療報酬改定に向けて～これからの歯科保健・歯科医療」をテーマに座長には島村大 参議院議員、副座長に宮坂副会長が中心となって活発な意見交換が行われ、質疑応答の後、宮坂副会長の閉会の辞をもって終了した。

# 島村大 後援会発足式 川崎市歯科医師連盟



小川淳 川歯連盟理事長のあいさつ



恒例の宇都宮副理事長のガンパローコール!



ご参集いただいた衆議院議員の皆様

## 島村大君を励ます会



持田文男県議会議員あいさつ



高橋日歯連盟会長あいさつ



河野太郎外務大臣あいさつ

## 桜井よし子氏 来たる！ 日歯連主催 時局講演会



平成29年11月26日(日)  
日歯連時局後援会に出席した。桜井よし子氏が母の介護の活用から歯科の活性を力説した。

予告

### 神奈川県歯科医師連盟

## 2018新春の集い～開催のご案内～

- ◇日 時：平成30年2月8日(木) 午後6時より
- ◇場 所：ロイヤルホールヨコハマ2F「ヴェルサイユ」
- ◇会 費：5,000円(当日、受付にてお申し受け致します。)

#### 申込方法

別紙案内裏面の参加申込用紙にご記入のうえ、平成30年1月25日(木)までに、神奈川県歯科医師連盟事務局までFAX (☎0120-681-786)にてお申込みください。